

## 自殺未遂者支援研修(若年層)実践編

全国の自殺者数は減少傾向ですが、令和6年小中高生の自殺者は過去最多の529人でした。また、大阪府の小中高生の自殺者は32人で、若年層への自殺対策は喫緊の課題です。

今回は、自殺未遂を行う若者のこころの理解等基本的な内容に加え、若者への声のかけ方等の演習を通じて傾聴のスキルを身に付けられる実践的な研修会を開催します。

日時

令和8年2月25日(水)  
午後2時～5時

場所

大阪赤十字会館 401会議室  
(大阪市中央区大手前2-1-7)

内容

- 講義:「自殺未遂(自傷行為)を行う若者のこころの理解と対応(実践編)」  
講師 関西医科大学 精神神経科学講座 池田 俊一郎 氏
- 演習・グループワーク:「若者のSOSに寄り添う対応」
- 質疑応答・まとめ

対象

- ①大阪府内(大阪市・堺市を除く)の保健所・保健福祉センター、市町村の保健・福祉関係部署等で精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
- ②大阪府内(大阪市立・堺市立を除く)の小学校・中学校、高等学校、支援学校等教育機関の職員

**定員:50名**

申込み

下記ページ内の申込みフォームまたは二次元コードから申込みください。  
こころのオアシス <https://kokoro-osaka.jp/>→研修→自殺対策研修→J-8



申込みはこちら

**申込み締切:令和8年2月10日(火)17時まで**

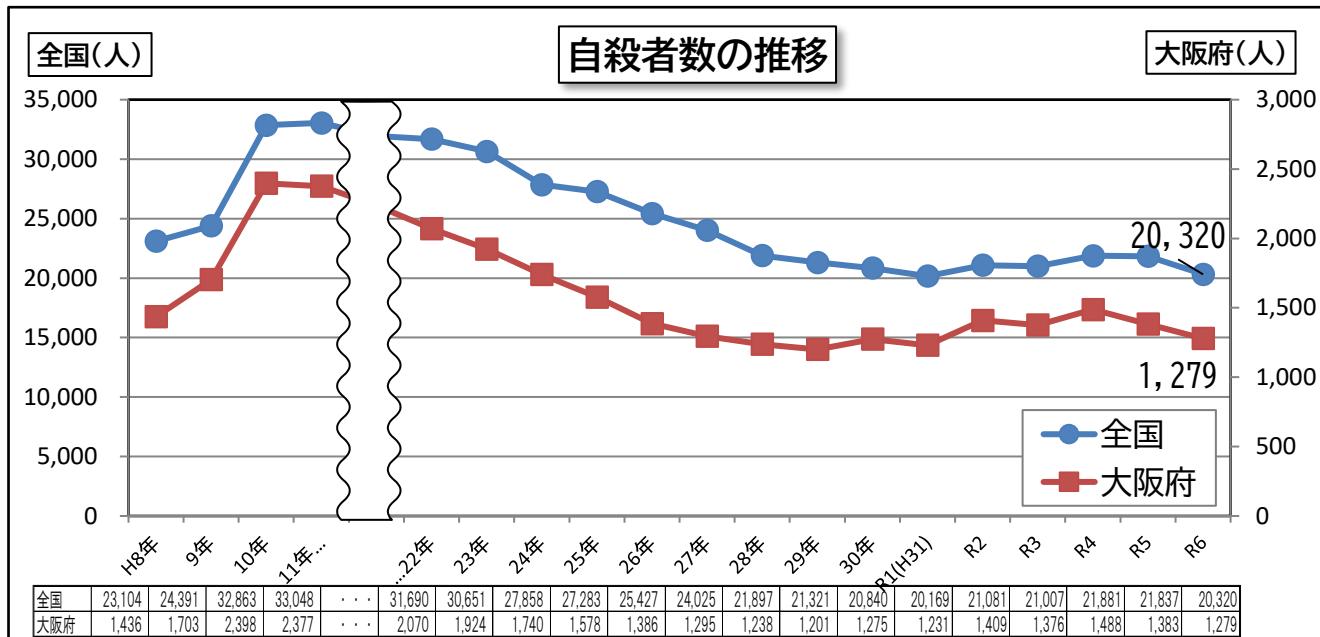
※定員に達すると申込みを締め切ります。

※受講いただけない場合は、開催日までに連絡します。

※申込み締切後、当センターよりメールで「受講決定通知書」を送付します。

問合せ先

大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当:南・入谷  
電話 06-6691-2810(課直通)  
E-mail:kenkosogo-g22@sbox.pref.osaka.lg.jp



全国の自殺者数は令和6年は前年より1,517人減少して20,320人でしたが、令和2年以前の状況には戻っていません。

大阪府の自殺者も令和6年は前年より104人減少して1,279人となりましたが、1日に約4人の方が亡くなられている状況です。

若者の自殺は遺族や社会への影響が非常に大きいことから、若年層への対策は特に重要で、関係機関が連携し必要な取組みをきめ細かに実施することが必要です

## 会場へのアクセス

ご来場は、公共交通機関をご利用ください。

